

令和8年度各務原市総合教育会議議事録

I 日 時 令和8年7月23日(木) 午後2時00分～午後3時00分

II 場 所 産業文化センター7階第1大会議室

III 出席者

(構成員)

市長 浅野 健司

教育長 丹羽 章

教育委員 大堀 憲、林 ゆり、小島 聡太郎、松原 裕子

(教育委員会事務局)

事務局長 田中 眞、次長兼少年自然の家所長 永井 聡、次長兼スポーツ課長 飯沼 利行、
教育総務課長 長縄 睦、教育施設整備推進課長 福手 芳尚、

教育施設管理課長 仲村 由紀、学校教育課長 加藤 大志、青少年教育課長 神田 香里、
文化財課長 戸崎 憲一、中央図書館長 岩田 寛子、学校給食センター所長 片桐 章雄、
学校教育課指導主事 小林 達也

(市長部局)

市長公室長 村瀬 誠、企画広報課長 小栗 安正

産業活力部長 伊藤 恭啓、いきいき楽習課長 横山 美佳

(書記)

教育委員会事務局教育総務課 教育政策係長 西部 太輔
主事 河合 駿英

IV 内 容

1 市長あいさつ

2 協議・調整事項

(1)教職員の業務量管理や健康確保措置について

(2)小中学校の水泳授業のあり方について

V 協議・調整事項の結果

(1) 教職員の業務量管理や健康確保措置について

市 長 それでは、「教職員の業務量管理や健康確保措置について」を議題といたします。担当課より説明をお願いします。

学校教育課長 (教職員の業務量管理や健康確保措置について、資料により説明)

市 長 説明ありがとうございました。只今の説明について、ご意見・ご質問がありましたらご発言をお願いいたします。

大堀委員 市内に時間外削減の取り組みのモデル校はあるのでしょうか。

学校教育課長 全ての学校で実施すべき取り組みであるため、モデル校の指定は実施しておりません。

大 堀 委 員 先生が実施すべき内容と先生以外が実施すべき内容とを上手に振り分けている学校が市内外にあれば、視察してみたいと思いました。

小 島 委 員 時間外在校等時間の一番大きな要因はなんですか。

学校教育課長 保護者対応です。共働きの家庭が大勢いらっしゃるの、連絡がつく時間帯がどうしても遅くなってしまい、時間外在校等時間が長くなる傾向にあります。また、その他の要因として、授業準備等が挙げられます。

小 島 委 員 回答の内容だと改善が難しいように感じますが、時間外在校等時間を削減できている先進自治体は存在していると思うため、参考として視察させていただきたいと思いました。資料では時間外在校等時間が減少しているように見受けますが、過去と比べて先生の人数が減少しているため、実際の時間外在校等時間は増加傾向なのではないでしょうか。

学校教育課長 水曜日をノー残業デーとすることや8のつく日は18時までに全員退勤する等の取り組みが定着しつつありますので、時間外在校等時間は減少傾向にあると考えています。

市 長 参考までに幼稚園における残業を削減するための取り組みがあれば教えてください。

小 島 委 員 共働きの家庭が多いので、勤務時間内に連絡がつかない場合は、アプリを活用して日程調整に係る業務時間の削減を図っています。緊急性が高い場合等はこの限りではありませんが、それでも残業時間は減少傾向にあります。

林 委 員 時間外在校等時間が月80時間を超える先生方の割合が、令和7年度では小学校が4.3%、中学校が7.1%、全体で5.4%。月当たりの平均は38時間～40時間と流石に越えすぎだと感じました。月80時間を超えてしまうと肉体的も精神的にも厳しくなってくると思うので、該当する先生方について、学校側は把握しているのでしょうか。

学校教育課長 全教員がどの程度業務時間外に在校しているかはすべて把握しております。時間外在校等時間が突出している教員については面談または産業医にご助言をいただいております。

林 委 員 時間外在校等時間が月45時間超80時間未満の先生の割合を減らすことによって、全体的な平均時間も下がってくると思います。時間外在校等時間の

多い先生にはサポートを付けるといった取り組みはあるのでしょうか。

学校教育課長 学年という組織の中でお互いに声を掛け合って、サポートする体制を確保しています。

林 委 員 先生同士でコミュニケーションをとることは大事だと思うので、今後も継続していただきながら残業時間を削減できるように各学校で適切な運営をしていただきたいと思います。

松 原 委 員 アプリを使っただけの連絡手段というのはいいなと思いました。共働き家庭が多いと、どうしても勤務時間外での対応が増えてしまいます。保護者が電話に出られない場合は、メールやアプリで対応をしていただくと隙間時間に確認することができます。一方で、緊急性の高いものに関しては、速やかに対応していただきたいと思います。先生方の業務効率を図るためには情報共有、指導、相談は必要だと思うので、そういう機会をどんどん増やせたらいいなと思いました。

大 堀 委 員 家族とご飯を食べてもらう、土日は子供と遊んでもらうといった先生にとってはすごく難しいと決めつけていると思いますが、具体的に子供と家族と一緒に夕食を食べられるような環境で働こうといった、スローガンのものを打ち出さないとみんなで目指していけないのではないかと思います。各務原市がモデルになるくらいの気持ちである程度覚悟を決めていかなければならないと思います。一つ一つ相当な覚悟をもっていかないと良い数字は目指せないのかなと思います。

市 長 先生あつての学校なので地域情勢や地域の応援といった先生以外にご協力を賜れるところがあれば、どんどんと積極的にご活躍していただきながら、先生の負担軽減等にも注力していただきたいと思います。市行政の方も総務部を中心としていかに時間外業務を削減しようと取り組んでいます。少し強気な対策をしていくことも大切だと思いますので、様々な対策を検討・実施していきたいと思っています。

(2) 小中学校の水泳授業のあり方について

市 長 それでは、「小中学校の水泳授業のあり方について」を議題とします。担当課より説明をお願いします。

学校教育課指導主事 (小中学校の水泳授業のあり方について、資料により説明)

市 長 説明ありがとうございました。只今の説明について、ご意見・ご質問がありましたらご発言をお願いいたします。

林 委 員 外部プールに委託した場合、1回の授業にいくら必要となりますか。

- 学校教育課指導主事 1 回あたりの指導料または指導員一人当たりの単価で考える方法があります。
- 林 委 員 外部に委託すると先生方のプール授業における指導力育成ができなくなる
と説明を受けましたが、外部委託となっていく場合、指導力の育成は必要
なくなるのではないのでしょうか。
- 学校教育課指導主事 今後市内すべて外部委託になった場合、外部プールの指導方法を学ぶこと
になります。一方、県内すべてが外部委託となるわけではないため、異動先
の学校では学校敷地内のプールで授業を実施する可能性は大いにあり、その
時に外部委託の知見しかない教員の指導力が課題となることが想定されま
す。
- 林 委 員 年間を通して、カリキュラムを組んで屋内プールで実施することは可能な
のでしょうか。
- 学校教育課指導主事 埼玉県志木市は5月～2月までの期間を3か月ごとに区切り、その期間を
各学校で割り振って実施していましたので可能です。
- 林 委 員 現状として屋外プールの継続は困難という選択肢になると思うので、学校
再編時、屋内プールを作るのか又は外部委託するのどちらかになると思
います。金銭面や先生方の指導力の必要性の有無の問題もあるので、それら
を踏まえて、考えていくことが一番なのかなと思いました。
- 松原委員 今後のプールのあり方として屋外での指導は困難になると思います。屋内
が望ましいとは思いますが、費用のことを考えると、どの規模のものをどこ
の学校に配置するかを考えなければなりません。費用を抑える方法として、
学校再編時、屋外プールを作るとした場合に、シェードを設置する取組み
をしていた自治体があったので考えていただきたいと思いました。熱中症の
対策だけでなく、先生方の時間割調整も難しいという点で、既存の方法か
外部委託にするかをそれぞれのメリットデメリットを出し、どちらがよいの
かを検討していただきたいと感じました。実際市内の小規模校は外部委託を
しているため天候に左右されない、専門的な方がいらっしゃる点では安心で
きるなと思いました。
- 大堀委員 小学生のうちに水泳を覚えておく中学校に行っても少しは泳げるよう
になると思うので、小学校は何か授業としてあるといいなと思いました。小
学校低学年での水遊びについては地域の幼稚園との連携、また再編時に大
きなプールではなく、室内の25m一本だけのプールにすること水量も少なく、
費用も抑えられると思いました。小学校のプール授業は残していきたいので、
学校再編と同時に考えていただきたいです。中学校についてはどうしても継
続困難であれば、危険に伴う座学に変更してもいいのかなと思いました。
- 小島委員 今後学校に屋外プールは無くてもいいのではないかなと思いました。一部の幼
稚園では、ゴールデンウィーク明けから10月末までの期間に屋内プールを利
用し、年間でプールを稼働する時期を用意しています。屋外だと水温も比較
的調整できますが、掃除、管理といった先生方の負担を考えると学校再編の
タイミングでプールを無くしてもいいのかなと思いました。

教 育 長 いろんな働き方、水泳授業のあり方についてアイデアや貴重な意見をいただきありがとうございました。教員の働き方については、保護者対応が一番多いという話でしたが、各務原市体制モデルとして一つ一つ相当な覚悟をもっていかなければならないと思いました。またプールのあり方については、学校再編と切り離して考えられないので、市長部局と連携し、全庁的に検討して総合的に考えて知恵を絞っていきたいと感じました。

市 長 水の怖さを知ることは非常に重要で、中学生は座学でもいいのかなと感じました。各幼稚園・保育園でも水遊び・プールはあるので、もう少し進んだものが、小学校で学べるようにするといいのかなと思いました。巨額な投資をすることよりは、水の怖さに第一において座学でも学べると思うので、今後さらに議論を深めて結論を出していったほしいと思います。

それではこれで議事を終了いたします。貴重なご意見をたくさんいただきましたので今後の施策の展開に十分反映していただきたいと思います。市長部局に置かしても、子どもたちにたくましく育っていただくためにそういった環境づくりあるいは社会教育や教育全般的なことにつきましても、一緒に連携を取りながら事業展開していきたいと考えていきたいと思います。今回2つの議題についてのご意見をいただきましたが、その他市教育の点でお気づきの点がございましたら、様々なアドバイスを伺いと思いますのでよろしくお願いします。では、進行を事務局に返します。

教育総務課長 本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。これをもちまして、令和8年度総合教育会議を終了いたします。本日はありがとうございました。